

令和7年度学校評価(年間評価)

学校名 大分県立大分雄城台高等学校

前年度評価結果の概要
○生徒一人一人に応じた全教職員参加の進路指導体制及び生徒指導体制の充実により、進路意識の向上と規範意識の醸成が図れた。
○新学習指導要領への対応と、ESDの視点を踏まえた授業とSDGsを題材とした探究活動の評価・振り返りに重点を置いた研究を推進することができ、進路希望実現に効果を発揮した。

学校教育目標 中期目標 重点目標
「誠実・自主・創造」の校訓のもと、持続可能な社会の構築に必要な資質・能力である情報整理力・課題解決力・発信力・協働・自他の尊重・チャレンジ精神の育成を図る教育活動をおとし、社会において逞しく生き抜き、主体的・積極的に社会貢献できる生徒の育成を目指す。

重点目標 達成(成果)指標 重点的取組 取組指標 PL SL 自己評価結果 評価 分析・考察 次年度の改善策 学校関係者評価
1 あらゆる教育活動における主体性の育成による「情報整理力」と「課題解決力」の向上。
2 規範意識の醸成による「協働」と「自他の尊重」の向上。
3 外部との連携・協働による「発信力」と「チャレンジ精神」の向上。

総合評価 次年度への展望等
○生徒一人一人に応じた全教職員参加の進路指導体制及びESDの視点を踏まえた授業とSDGsを題材とした探究活動での評価・振り返りの充実が進路目標の達成につながった。
○ICTの利活用推進やパフォーマンス評価を充実させることで、単元デザインシートを活用した「指導と評価の一体化」を推進することができた。